



100%いじめを許さない子どもをめざして

6月に全校児童を対象に実施した児童アンケートに「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という項目がありました。アンケート実施人数257人のうち、「はい」と回答した児童は、222人でした。学校は、100%いじめを許さない子どもを育てたいという思いで取り組んでいます。如何なる理由があろうとも、いじめや嫌がらせ、暴力、悪口はしてはいけないことだと指導し、正しい解決の仕方を学ばせたいと思っています。

【各学年の授業より】

6年 靴かくしや靴へのいたずらをされた子の気持ちを考え、自分たちにできることは何か、やってしまう子を生まないためにできることは何かを考えて話し合いました。

- ・もし自分がされていたら、とても不安になっていたりいやな気持ちになったりしていたと思います。自分もされたくない、他の人がされるのもいやなので、自分ができるかぎりのことはしたいと思っています。そして、された子がいやな気持ちにならないように相談にのったり、元気づけたりしたいと思っています。
- ・被害にあった人の気持ちを考えると、絶対にいじめはしてはいけないことだし、ふざけてやったとしてもその人の命に関わることもかもしれないから、いじめはこわいなと思いました。クラス全員が笑顔になれるよう、積極的に一人にいる子に話しかけて、その子のいいところをたくさん見つけていきたいです。
- ・みんなで話し合って自分にできることはたくさんあるんだなと思いました。靴をかくされるのは自分がされたらもちろんいやだし、まわりの人や友だちがされたらその子もいやだし、自分もモヤモヤするので、絶対にしてはいけないと思いました。一人の子を作らないという意見にすごく納得しました。一人の子がいたら遊びに誘ったりして、みんなが楽しいと思える学校にしたいと思いました。
- ・ぼくだったらやりません。理由は、友だちを大切にしたいから。

5年 下のような題材を提示し、物かくしをした理由で許せる理由があるかを考えました。

小学校5年生のたかし君がいます。ある日、自分の鉛筆がないことに気が付きました。でも、自分がなくしてしまったと思い、あまり気にはかけませんでした。次の日、自分の消しゴムがないことに気が付きました。周りを探すと、ロッカーの上にはありましたが、自分は置いた覚えがありませんでした。次の日、自分の教科書がないことに気が付きました。友だちに相談し、いっしょに探してもらうと、ごみばこの裏にありました。たかし君は物かくしをされていたのです。誰にされたのかはわかりません。

- ・私は、いじめは許せないと思います。いじめをされた人はとても悲しいし、理由を言ったところで、あやまったところで、したからには変わりはありません。なので、してはいけないのです。だから、いじめを見かけたら注意したいです。
- ・私は、いじめはどんな理由があってもダメなことだと思います。最近よくニュースなどでいじめのせいで自分を責めてしまって死んでしまったというのを見るからです。その子はなにもしていないのに、いじめのせいでそんなことになってしまうのは悲しいです。なので、いじめはダメだと思いました。
- ・いじめについて、ぼくは「自分が前に被害者になっていたから仕返しした」という理由の時に、許そうとしていたけど、いじめは絶対に許してはいけないと考えが変わりました。なぜなら、自分が被害者だったら、いじめをされたときにとってもいやな気持ちになると思ったからです。
- ・やっぱりいじめはだめだと思いました。からかいは、ギリ許せるって思ったけど、だめ派の人の意見をきいて、からかいもだめだなと思いました。

ねん
4年
ねん
3年

みぎ だいざい かつ
右のような題材を使って、靴をかくすのでは
なくどうすればよかったのか、靴かくしを見
たとき自分ならどうするかを考えました。

〈4年〉

- ・人のくつをかくして何かとくをするのか、まったくわ
らない。その人からして楽しかったとしても、やられた
方は悲しいからゆるせない。自分がされたらどうなのか
を考えてほしい。
- ・わたしは、くつかくしはぜったいにしたくないです。人
がされているのを見たら、くつをもどして、かくした人に
注意します。「だめだよ。そんなことしたら、けんかが
もっとひどくなるよ。」と言います。やられた人に言う
と悲しんでしまうから、やられてしまった人には言わな
いです。
- ・「さっきけんかしたから」という理由や「きらいだから」という理由、なんの理由があるからと、くつや物を
かくすのはいじめにつながるし、けんか、ぼう 力にもつながるのでだめだと思う。何があっても、物やくつ
をかくさない。人の物をこわしたいくらいいついたら、まわりの人にそうだんする。
- ・くつかくしや人がいやがることはぜったいにやったらだめだと思います。遊びやいたずらでもしてはいけない
と思いました。

〈3年〉

- ・前もいじめはだめって知っていたけど、もっとだめだなとこの勉強でわかった。
- ・ぼくだったら、くつをかくさず、あやまっていっしょに楽しくすごしていきたいです。ちゃんとあやまることは
大事だと思います。
- ・もし、こういうことを見かけたら、わるいことだということを伝えたいです。
- ・けんかがあった理由を、まず先生にいうのが大切だと思いました。

ねん
2年

くつかくしをされた子とした子の気持ちを考えて話し合いました。

- ・くつをかくすなんてひどいと思いました。自分ならぜったいにやりません。やられたとしたら悲しいです。
- ・くつかくしをされた子はかなしくなるのに、どうしてくつかくしをする子がいるんだと思ってびっくりしまし
た。自分がもし、くつかくしにあったら、先生にそうだんして、やった子と話して、なぜやったのか聞きたい
です。
- ・どうしてそんなことをするのと思いました。わたしは、友だちがこまっていたらたすけたいです。
- ・自分はされたいやなので、友だちにもしません。

1年

みぎ だいざい つか
右のような題材を使って、みんなが笑顔で
ごすにはどうすればいいかを考えました。

- ・いじめているこに「ひとがいやなきぶんになるよ。」
「いじめはよくないよ。」という。
いじめられているこには「だいじょうぶ。」という。
- ・かわいそうだよ。じぶんがやられたらどうするの。みんな
がえがおにならないからやめて。みんなでえがおです
ごそうよ。
- ・いじめているひとがいたら、「やめなさいよ」とこえを
かける。
- ・くつをなげたらあぶないよ。おともだちもいなくなるよ。
おともだちがないちゃうよ。

ある日のくつばこで

体育のじゆ業がもうすぐ始まるというときのことです。体育館
についたまりこさんは、教室に赤白ぼうを忘れたことに気がつき
ました。まりこさんは急いで教室に取りに行きました。
教室から体育館にもどろうとしてくつばこの横を通るときに、
同じクラスのいずみさんがくつばこのところにいることに気がつ
きました。

「いずみちゃん。」
と声をかけようとしたときです。
いずみさんが、だれかのくつをかきさたの下にそっとかくした
のを見えました。

まりこさんがびっくりしていると、ふりむきたいずみさんと目
が合いました。

いずみさんもびっくりしたような顔をしましたが、
「さっき、くみちゃんとけんかをしましたの。誰にも言わな
いでね。」
と言って、体育館の方に行きました。

まりこさんは、どうしたらいいのかこまっていたしまいました。

